

災害の記憶を風化させないための防災講演会・パネル展示・啓発イベントと出前講座

～平成16年の台風第23号による災害から10年～

丹後土木防災啓発プロジェクトチーム

京都府内各地で**3年連続、水害・土砂災害が発生！**丹後地域に大きな被害をもたらした平成16年の台風第23号による災害から10年が経過しており**災害の記憶を風化させない取り組みが必要！**

丹後土木管内の府管理河川の整備率は約20%（要改修箇所は約250km、50mm/h対応）、土砂災害危険箇所の整備状況は約17%（要対策箇所は約860箇所、土砂災害警戒区域等は約3,000箇所）と低い状況にあり、全てを施設整備で対応するには膨大な時間と費用がかかる・・・**府民の皆さんに自分の命や地域を守る行動を起こしてもらうためになんとかしなくては!!**

企画段階から「行政・防災・教育」の関係機関と意見交換を実施

教育機関や地域に既にある行事や活動とタイアップしよう

コスト意識をもって企画からみんなで知恵を出そう

土日は職員が地域の皆さんに直接語りかけよう

砂防ボランティアと若手府職員がコラボして出前講座に行こう

H16災害から10年が経過した機会をとらえ主要啓発行事を10月20日を契機に集中して取り組もう

防災・減災は**自助・共助**が大切！住民の防災意識の向上のため目指すは**府民参加1,000人!!**

「地域」の持つマンパワー・知恵・資源を結集

京都府立大学、舞鶴工業高等専門学校の専門家をお招きして防災講演会を開催

管内2市2町の民間商業施設で土日に府市町職員が連携してパネル展を開催

改修を終えた大手川で地域団体が継続して河川環境整備を行う仕組みを構築。改修中の加悦奥川では工事見学会を開催

府丹後教育局主催の管内教頭会議の場において出前講座開催と応募方法等を案内

H26福知山水害・広島土砂災害後の住民の防災・減災への関心の高まった機会をとらえ啓発行事のPRを強化

アクションプランが決定!!

府民参加 **約 2,900人** を達成!!

- **防災講演会**（テーマ「各地域で作る防災プラン・防災マップ」「風水害から地域を守るために」）**172人**
- **パネル展示**（H16台風第23号の襲来・豪雨、洪水・土砂災害による被害の状況、災害復旧工事、H26福知山水害・広島土砂災害、防災情報の入手方法、台風23号襲来時の大手川出水ビデオ上映、来場者への語りかけ、ガンバレ治山君実演、まゆまる・観光キャラ缶バッジ製作、防災メールPRなど）**2,244人**
- **啓発イベント**（大手川で地域団体による河川環境整備、加悦奥川河川改修工事見学会など）**88人**
- **出前講座**（間人小・府立海洋高・教頭会議・与謝小・三河内小・宮津小・伊根小・石川小）**386人**
【その他の取り組み：丹後広域振興局総務室所管】
- **防災・減災リーフレット**（「地震、大雨などの災害から自分自身を守るために」管内2市2町で全戸配布）**42,300部**

今後の取り組み

- ・未開催地域の小学校への**出前講座**
- ・家庭で共有できる**災害記録誌の作成・配布**
- ・災害時要援護者施設等へ**押しかけ訪問**

平成26年度丹後広域振興局管内イチオシ事業発表会にて「**最優秀賞**」を受賞！（H27.2.20）



これからも**災害への備えや自助・共助の大切さ**を伝え、**水害・土砂災害のリスク情報**を可視化して地域全体で共有し、**さらに住民の防災意識の向上**を目指します！